

内視鏡検査について

- ◇ 胃内視鏡検査は、直径 1 cmほどの細長い管の先にレンズをつけた内視鏡（ファイバースコープ）を口から挿入し、消化管の内部を直接観察する検査です。
- ◇ レンズが捉えた映像はモニターに映し出され、病変の大きさや形、色、出血の有無などを目で確認できるので、食道・胃、十二指腸の病変を調べることができます。
- ◇ また医師が必要と認めた場合は、組織の一部を内視鏡の鉗子で採取して調べる検査、生検を行います。

前処置

1. 義歯は必ず外して下さい。口紅も拭き取ってください。
2. 胃の中をきれいにする薬が入った白い水を飲んでもらいます。
3. 必要に応じて、点滴をしたり、肩に胃の動きを押さえる注射をします。
4. のどにスプレーの麻酔をかけます。

検査

1. 必要以上に緊張すると入りにくくなりますので、肩の力を抜いて楽にして検査を受けてください。
2. 胃の中をくわしく見るために、空気を入れます。
ゲップをしますと、入れた空気が抜けますので、できるだけがまんしてください。
3. 検査にかかる時間は5～10分ですが、多少長くなる場合があります。



検査後の注意

1. 検査終了後 1 時間は、のどの麻酔が効いているため、飲むこと・食べることはできません。1 時間後、お茶かお水を飲んでむせなければ、食事ができます。
2. 鎮静剤を使用した場合、当日、車（バイク・自転車を含む）を運転してはいけません。
3. 組織検査やピロリ菌の検査をされた方は、出血予防のために
 - ①アルコール類は飲まないでください。
 - ②激しい運動は控えてください。
 - ③長時間の入浴は避けてください。
 - ④血を吐いたり、黒い便が出たり、便に血が混じっていたり貧血症状（動悸・息切れ・めまいなど）がありましたらすぐにご連絡ください。

連絡先 大分県立病院 代表 097-546-7111